



56K DATA/14.4K FAX MODEM PCI Board

REX-PCI56C

ユーザーズマニュアル

2004年2月 第1.0版

注意！

本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

添付のCD-ROMには、Windows・Linuxのドライバが収録されています。誤って他のOSのドライバを使用すると、Windowsの再インストールが必要になる場合があります。必ずこのマニュアルに指示されたドライバをインストールしてください。

ラトックシステム株式会社

< 目次 >

| | |
|--|----|
| 1 . はじめに | 1 |
| 1 - 1 . ご注意 | 1 |
| 1 - 2 . 製品の特徴 | 2 |
| 1 - 3 . 安全にお使い頂くために(必ずお読みください) | 3 |
| 1 - 4 . 製品に関するお問い合わせ | 5 |
| 2 . REX - PCI 56C について | 6 |
| 2 - 1 . 対応パソコン | 6 |
| 2 - 2 . 対応OS | 6 |
| 2 - 3 . 添付品について | 6 |
| 2 - 4 . 制限 | 7 |
| 2 - 5 . AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードについて | 8 |
| 2 - 6 . 接続できる通信回線について | 8 |
| 2 - 7 . インストールの概要 | 9 |
| 2 - 8 . Low Profile (ロープロファイル) PCI での使用の場合 | 10 |
| 2 - 9 . パソコンへの REX-PCI56C の装着 | 11 |
| 3 . Windows XP でのインストール | 13 |
| 3 - 1 . ドライバのインストール | 13 |
| 3 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信 | 13 |

| | |
|-------------------------------------|----|
| 4 .Windows Me でのインストール | 23 |
| 4 - 1 . ドライバのインストール | 23 |
| 4 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信 | 29 |
| 5 .Windows 98SE でのインストール | 39 |
| 5 - 1 . ドライバのインストール | 39 |
| 5 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信 | 46 |
| 6 .Windows 2000 でのインストール | 56 |
| 6 - 1 . ドライバのインストール | 56 |
| 6 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信 | 59 |
| 7 . トラブルシューティング | 68 |
| 7 - 1 . 一般的トラブル | 68 |
| 7 - 2 . ハイパーターミナルの追加 | 69 |
| 7 - 3 . 「ポートが開かれていません」と表示される | 71 |
| 7 - 4 . 例外エラーが発生し、インストールできない | 72 |
| 7 - 5 . 発信すると、パソコンがリセットする | 73 |
| 7 - 6 . 「Windows 保護エラー」が発生し起動しない | 73 |
| 7 - 7 . パルスで発信できない (Windows2000/XP) | 74 |
| 7 - 8 . WindowsXP で正常に動作しない場合 | 75 |

| | |
|----------------------------------|----|
| 8 . モデムの削除 | 87 |
| 8 - 1 .Windows XP での削除方法 | 87 |
| 8 - 2 .Windows Me での削除方法 | 89 |
| 8 - 3 .Windows 98SE での削除方法 | 92 |
| 8 - 4 .Windows 2000 での削除方法 | 95 |
| 9 .Linux での使用 | 97 |
| 10 . 修理に関して | 98 |

1. はじめに

このたびはREX-PCI56C 56Kbps DATA / 14.4Kbps Fax Modem PCI Cardをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本書は、REX-PCI56Cの導入を説明したマニュアルです。正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

また、添付CD-ROMのルートディレクトリに入っている「README.TXT」には本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。

1 - 1 . ご注意

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。
- 運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 一般に会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

1 - 2 . 製品の特徴

- ・V.92/V.90 及び K56flex(自動認識)に準拠しています。56Kbps (理論値)に対応しており、インターネットも快適にお使い頂けます。
- ・最高 14400bps の高性能 FAX 通信速度に対応し、EIA Class1 に対応し、パソコンから直接 Fax を送信したり受信する事ができます。
- ・Hayes 標準 AT コマンドに準拠、MNP-24, V.42, LAPM, MNP5, V.42bis に準拠したデータ圧縮機能、エラー訂正機能を搭載しています。

1 - 3 . 安全にお使い頂くために(必ずお読みください)

記号説明



この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。



分解や改造等は絶対に行わないでください。
無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものをのせることは行わないでください。
煙が出たり、変な臭いがある場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。
カードが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。

注意

本製品は電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。
故障するおそれがあります。

ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、
ノイズを与え誤動作することがあります。

モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがあり
ますので、必ず離してご使用ください。

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様です。日本国外で
使用された場合の責任は負いかねます。

本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人
命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機
器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御シス
テムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故な
どが発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の
近く、温度差の激しい場所チリやほこり、湿気の多い場所振動や衝
撃の加わる場所での保管は避けてください。

1 - 4 . 製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記迄お問い合わせください。
お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、
下記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX、電子
メールにて回答いたします。

ご質問に対する回答は下記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。
また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間
がかかる場合もございますので予めご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
〒 556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル
TEL 06-6633-6766(大阪) 03-3837-3020(東京)
FAX 06-6633-3553
月～金 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜、日曜および祝日を除く
FAX での受付は 24 時間行っております。

ホームページでも最新の情報をお届けしております。
ホームページから E-Mail でご質問頂けます。

<http://www.ratocsystems.com/>

2 . REX - P C I 5 6 C について

2 - 1 . 対応パソコン

本製品は、PCI スロットを搭載した PC/AT 互換機に対応しています。ただし、一部の機種では制限があったり正常に動作しない場合もありますので、メーカー名および機種型番の詳細については弊社サポートセンターに直接ご確認ください。

2 - 2 . 対応 OS

本製品は以下の OS に対応しています。

Windows 98SE(Second Edition)

Windows 2000

Windows Me(Millennium Edition)

Windows XP

2 - 3 . 添付品について

REX-PCI56C には PCI ボード以外に以下のものが添付しています。不足の場合は、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

モジュラーケーブル

ユーザーズマニュアル

保証書

ドライバ CD-ROM

Low Profile PCI 用ブラケット

2 - 4 . 制限

- 本製品は、日本国内向けにローカライズされているため、海外での使用はサポートされていません。
- Class 2 のみ対応の FAX ソフトウェアは使用できません。
- NTT 加入回線用に設計されてます。ボタン電話、ビジネスフォン、ホームテレフォン、家庭用キーテレフォン、PBX(構内交換機)、等に接続する場合は装置メーカーや保守会社にご相談ください。
- +48V 給電のないターミナルアダプタではご利用頂けません。仕様に関してはターミナルアダプタのメーカー様にお問い合わせください。
- 環境(回線品質、回線状況)によっては、DCE 速度が 56Kbps で接続できない事があります。
- 接続先が「K56flex」方式もしくは「V92/V90」以外の場合は、33.6Kbps 以上の速度で接続できません。
- Windows 2000 では、OS 側の仕様により DTE 速度が表示されます。(ServicePack1 以上にアップすることにより回避できます)

2 - 5 .AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードについて

AT コマンドは米国 Hayes 社が開発したモデム制御コマンドです。REX-PCI56C への制御は、この AT コマンドによって行います。このマニュアルでは、AT コマンド・S レジスタ・リザルトコードを記載していません。これは通常を使用する場合、特に意識する必要がないためです。

もし、必要な場合 AT コマンド・S レジスタ・リザルトコード一覧表を CD-ROM 内の ATCOMAND.TXT ファイルにして用意しておりますので、参照願います。

2 - 6 . 接続できる通信回線について

REX-PCI56C が使用できる通信回線は次のとおりです。

アナログ一般公衆回線

ISDN アナログポート

以下の回線はご使用になれません。

アナログ携帯電話

PHS

デジタル携帯電話

ビジネスホン

ISDN

2 - 7 . インストールの概要

インストールは以下のように進めます。

OS が正しくインストール完了している前提で述べてます。

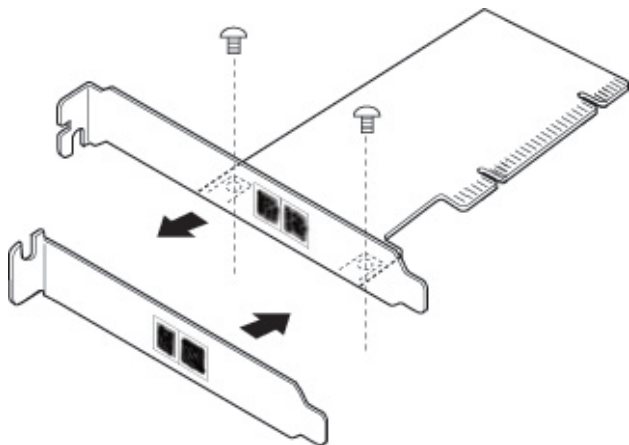
1. 他社製のモデムを以前使用していた場合は、そのモデムの削除を行ってください。削除方法は、そのモデムのマニュアルを参照いただくか、メーカー様にお問い合わせください。
2. REX-PCI56C の装着
3. ドライバソフトのインストールの実行
OS の種類によって手順が異なりますので、本マニュアルに従って作業してください。
4. インストールの確認
正しくインストールされたかチェックします。
パソコン本体から、REX-PCI56C が認識されるかチェックします。
5. モデムと通信してみる
パソコンとモデムがつながったかどうかの確認をします。
パソコンからモデムに対して AT コマンドを送出します。
6. 回線に接続してみる
モデムから実際にダイヤルします。
発信されることを確認します。

1 ~ 6 まで、実行できれば REX-PCI56C は正常に動作しています。

以降の章では、各 OS 別に説明していきます。

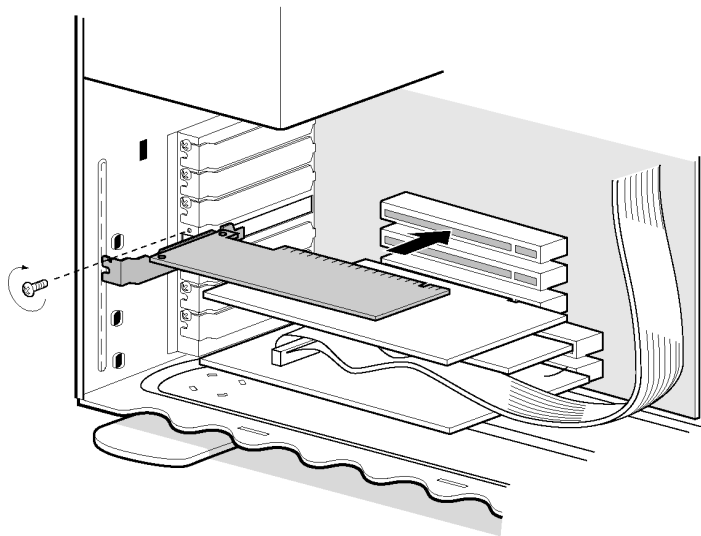
2 - 8 .Low Profile (ロープロファイル) PCI でご使用の場合

Low Profile PCI スロット搭載パソコンをご使用の場合は、本製品をパソコンに取り付ける前に、ブラケットの付け替え作業が必要です。下図のように、本製品に取り付けられているブラケット固定用ネジ（2ヶ所）を外し、ブラケットを取り外します（ ）。製品添付の LowProfile PCI 用ブラケットを取り付け（ ）、再びネジで固定します。

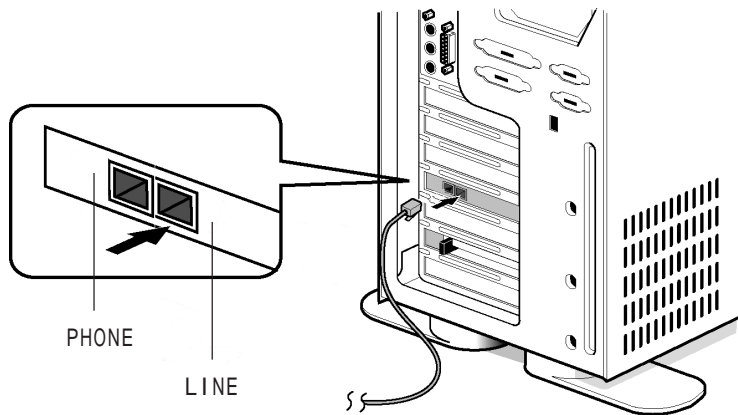


2 - 9 . パソコンへの REX-PCI56C の装着

パソコンの電源を切り(電源コードを抜いてください)
以下の絵の通りに空いている PCI バスに正しく装着します。
最後までしっかりと挿入してください。



モデムのケーブルは以下の通りに、実際にダイヤルするまでに接続してください(ブラケットに PHONE と刻印された方に電話を接続し、LINE と接続された方に電話回線を接続します)。



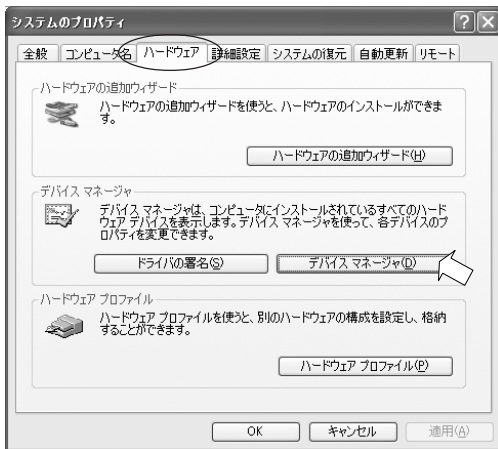
3 .Windows XP でのインストール

3 - 1 . ドライバのインストール

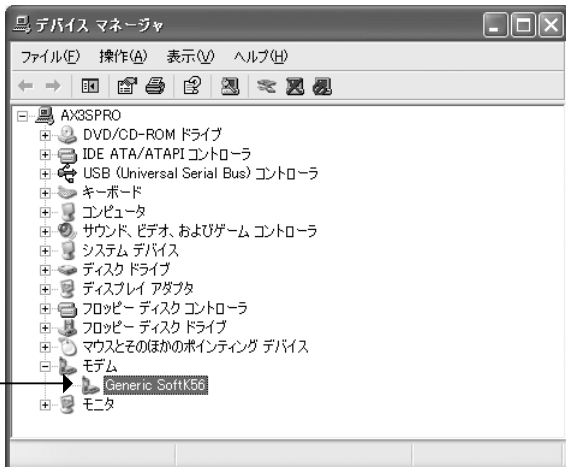
パソコンを立ち上げると、自動で、OS 標準のドライバがインストールされます。(画面は表示されません。また添付 CD-ROM は使用しません。)

3 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信

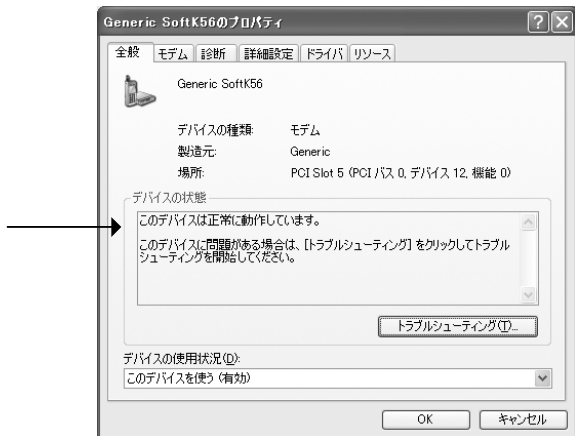
1. 「スタート」 「コントロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」 「システム」をクリックします。「ハードウェア」タブを選び、「デバイスマネージャ」をクリックします。



2. 「モデム」の「+」をクリックして「Generic SoftK56」が登録されていることを確認し、「Generic SoftK56」をダブルクリックすると次頁の画面を表示します。



3. 「Generic SoftK56のプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています」と表示されているのを確認します。
次に「モデム」タグをクリックしてください。



4. 外線発信を行う場合や、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックを外します。次に「診断」タブをクリックしてください。

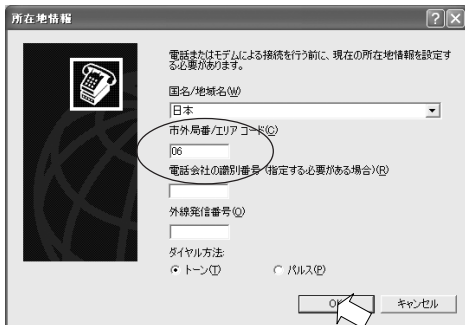


5. 「モデムの照会」を選び以下の画面に変わるのを確認してください。「OK」をクリックして処理を終了させてください。



これでモデムとの通信テストは終了です。

6. コントロールパネルの「プリンタとその他のハードウェア」
「電話とモデムのオプション」アイコンを選択します。次の画面が
起動した場合は、「市外局番 / エリアコード」を入力し、「OK」をク
リックします。



7. 次の画面で「編集」をクリックします。



8. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

ダイヤル方法 ト - ン = プッシュホン回線

パルス = ダイヤル回線 　　です。

内容を確認して「OK」をクリックしてください。

外線発信に 0 や 9 が
必要な場合は、必ず外線
発信番号に数字と ", " を
入れてください。

例: 0,

9. モジュラージャックにモデムケーブルを接続してください。

10. 「スタート」 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「通信」 「ハイパーターミナル」を起動します。名前を入れて「OK」をクリックしてください。



11. 電話番号を入れ、接続方法に「Generic SoftK56」または、ドライバ更新をした場合は、「SoftK56 Data Fax」を選択し、「OK」をクリックしてください。



上の電話番号はNiftyのアクセスポイントです。(一例)

12. 「ダイヤル」をクリックするとダイヤルを開始します。



13. 以下の画面で接続成功です。



上記はNiftyへの接続例です。

以上で、パソコンとモデム間の通信は成功しましたので、お客様の接続環境に応じて、設定を行ってください。

4 .Windows Me でのインストール

4 - 1 . ドライバのインストール

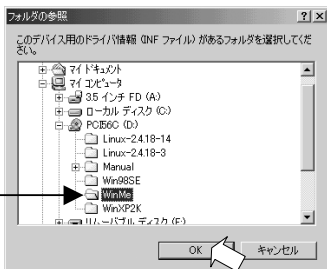
1. パソコンを立ち上げると「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。「ドライバの場所を指定する...」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



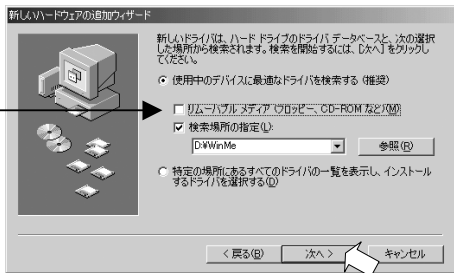
2. 以下の画面が表示されますので、製品添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れ、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「検索場所の指定」にチェックを入れた後「参照」をクリックしてください。



3. 「フォルダの参照」画面が表示されます。CD-ROM内の「WinMe」を選択し、「OK」をクリックしてください。



4. CD-ROM 内の「WinMe」フォルダが指定されていることを確認し、(以下の例では D:¥WinMe)「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)」のチェックを外して、「次へ」をクリックしてください。

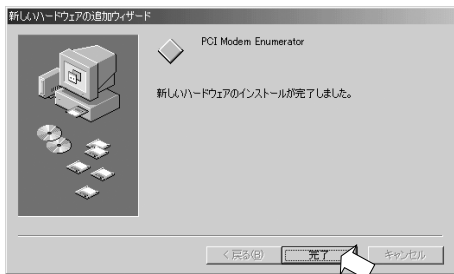


注) パソコンの環境により、ドライブ名(「D:」)は異なります。

5. 次の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



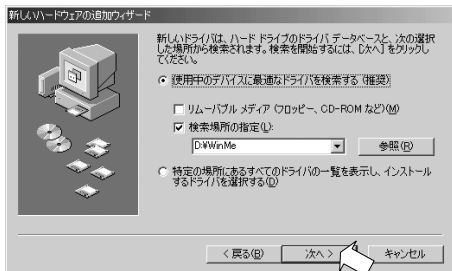
6. 次の画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。



7. 再度「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。「ドライバの場所を指定する...」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



8. CD-ROM 内の「WinMe」フォルダが指定されていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。



9. 次の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



ドライバがコピーされます。

10. 最後に次の画面が表示されます。

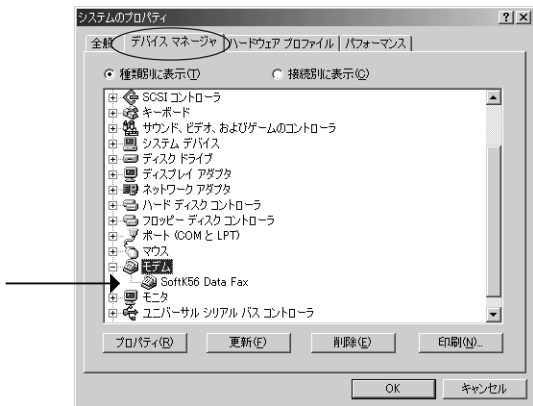
以上でドライバのインストールは完了です。

「完了」をクリックしてください。

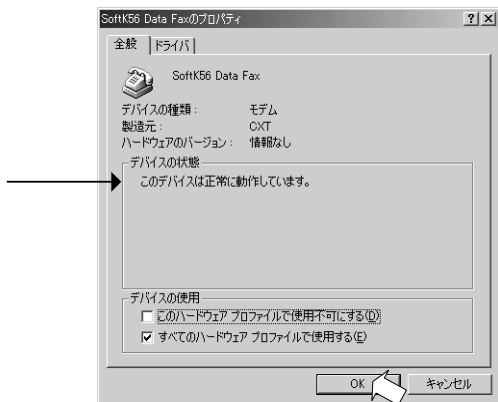


4 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信

1. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
デバイスマネージャを開き「モデム」の「+」をクリックして
「SoftK56 Data Fax」が登録されていることを確認し、「SoftK56
Data Fax」をダブルクリックすると次頁の画面を表示します。



2. 「SoftK56 Data Faxのプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています」と表示されているのを確認します。「OK」をクリックしてください。



3. 「マイ コンピュータ」をダブルクリックして、「コントロールパネル」を開きます。「モデム」アイコンをダブルクリックします。P.18 のような画面が起動した場合は、「市外局番 / エリアコード」を入力し、「OK」をクリックします。すると次の画面が表示されますので、「SoftK56 Data Fax」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

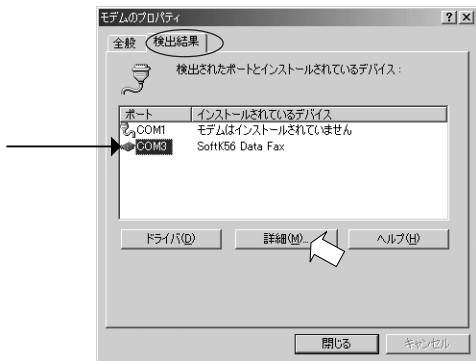


4. 外線発信を行う場合、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、以下の画面で「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外してください。



「OK」をクリックしてください。

5. 「検出結果」を選択します。「SoftK56 Data Fax」のポート（以下の例では「COM2」）を選択し「詳細」をクリックします。



6. 次の様に表示されることを確認ください(環境によりポート情報の表示は異なります)。表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。表示後、「OK」をクリックします。



これでモデムとの通信テストは終了です。

7. 「全般」タブをクリックし、「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。



8. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

ダイヤル方法 トーン=プッシュホン回線

パルス=ダイヤル回線 　　です。

内容を確認して「OK」をクリックしてください。



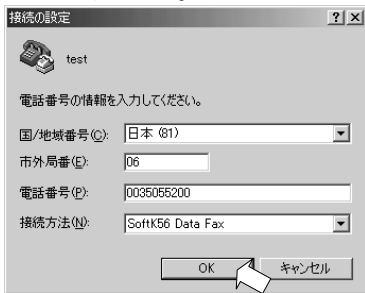
外線発信に 0 や 9 が
必要な場合は、必ず外線
発信番号に数字と ", " を
入れてください。
例: 0,

9. モジュラージャックにモデムケーブルを接続してください。

10. 「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「通信」「ハイパーターミナル」を起動します。名前を入れて「OK」をクリックしてください。「ハイパーターミナル」の表示がない場合は、P.69「ハイパーターミナルの追加」を参照してください。



11. 電話番号を入れ、接続方法に「SoftK56 Data Fax」を選択し、「OK」をクリックしてください。

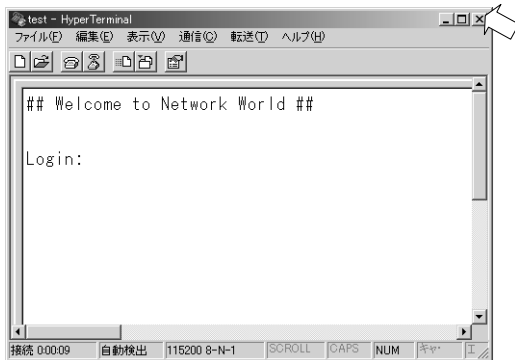


上の電話番号はNiftyのアクセスポイントです。(一例)

12. 「ダイヤル」をクリックするとダイヤルを開始します。



13. 以下の画面で接続成功です。



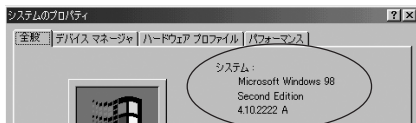
上記はNiftyへの接続例です。

以上で、パソコンとモデム間の通信は成功しましたので、お客様の接続環境に応じて、設定を行ってください。

5 .Windows 98SE でのインストール

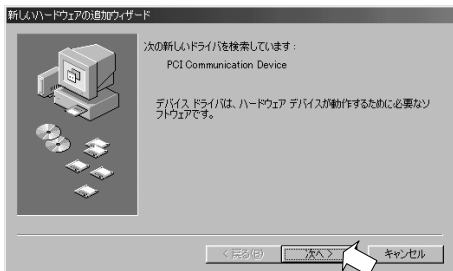
5 - 1 . ドライバのインストール

「マイ コンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。次の画面が表示されます。「Second Edition」の文字がある場合のみ、本製品を使用することができます。

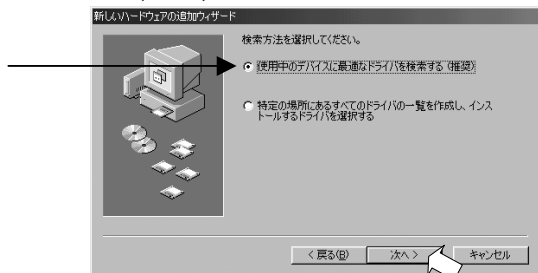


98SE

1. パソコンを立ち上げると「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



2. 以下の画面が表示されますので「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し「次へ」をクリックしてください。



3. 製品添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れ「検索場所の指定」のみにチェックを入れ、「参照」をクリックしてください。



4. 「フォルダの参照」画面が表示されます。CD-ROM 内の「Win98SE」を指定し、「OK」をクリックします。



5. CD-ROM 内の「Win98SE」フォルダが指定されていることを確認し、(以下の例では D:¥Win98SE) 「次へ」をクリックしてください。



注) パソコンの環境により、ドライブ名(「D:」)は異なります。

6. 「PCI Modem Enumerator」と表示されていることを確認し「次へ」をクリックしてください。



ドライバがコピーされます。

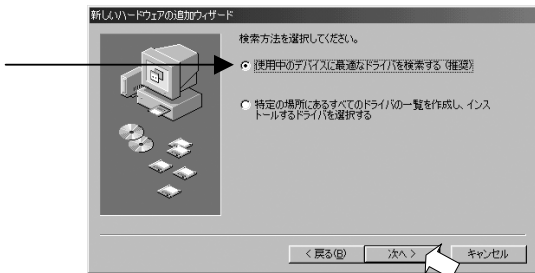
7. 次の画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。



8. 次の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



9. 以下の画面が表示されますので「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し「次へ」をクリックしてください。



10. CD-ROM 内の「Win98SE」フォルダが指定されていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。



注) パソコンの環境により、ドライブ名(「D:」)は異なります。

11. 「PCI SoftV92 Data Fax Modem」と表示されていることを確認し「次へ」をクリックしてください。



ドライバがコピーされます。

12. 次の画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。



5 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信

1. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
デバイスマネージャを開き「モデム」の「+」をクリックして「PCI
SoftV92 Data Fax Modem」が登録されていることを確認し、「PCI
SoftV92 Data Fax Modem」をダブルクリックすると次頁の画面を
表示します。

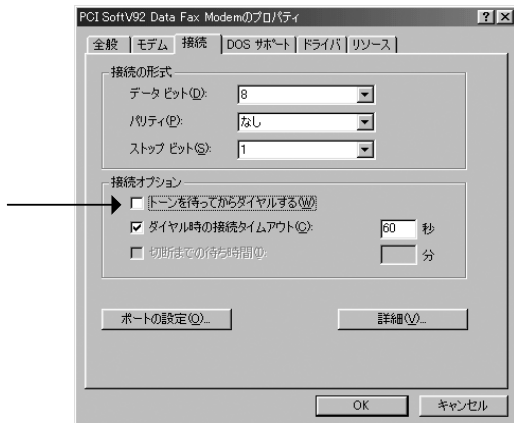


2. 「PCI SoftV92 Data Fax Modemのプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています」と表示されているのを確認します。「接続」タブをクリックしてください(画面には「DOS サポート」のタブがありますが、機能しておりません(DOS はサポートしておりません))。



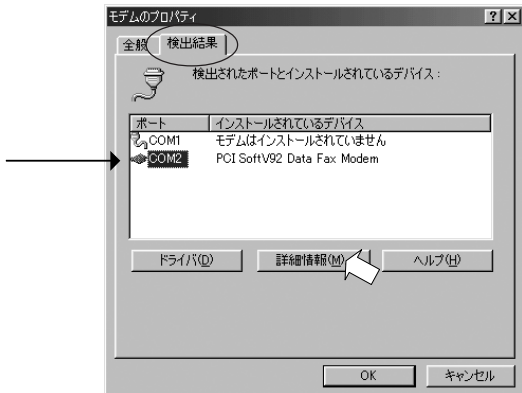
3. 外線発信を行う場合、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、以下の画面で「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外してください。

98SE

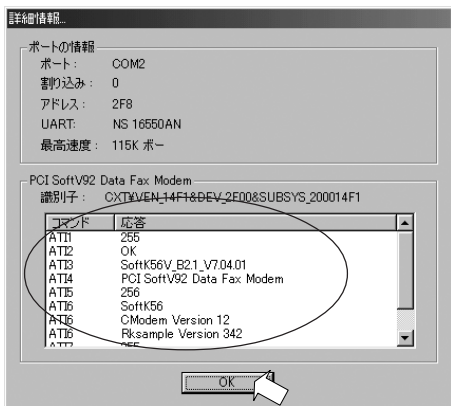


「OK」をクリックしてください。

4. 「マイ コンピュータ」をダブルクリックして、「コントロールパネル」を開きます。「モデム」アイコンをダブルクリックします。P.18 のような画面が起動した場合は、「市外局番 / エリアコード」を入力し、「OK」をクリックします。すると次の画面が表示されますので、「検出結果」を選択します。「PCI SoftV92 Data Fax Modem」のポート(以下の例ではCOM2)を選択し、「詳細情報」をクリックします。



5. 次の様に表示されることを確認ください(環境によりポート情報の表示は異なります)。表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。表示後、「OK」をクリックします。



これでモデムとの通信テストは終了です。

6. 「全般」タブをクリックし、「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。



7. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

ダイヤル方法 トン=プッシュホン回線

パルス=ダイヤル回線 　　です。

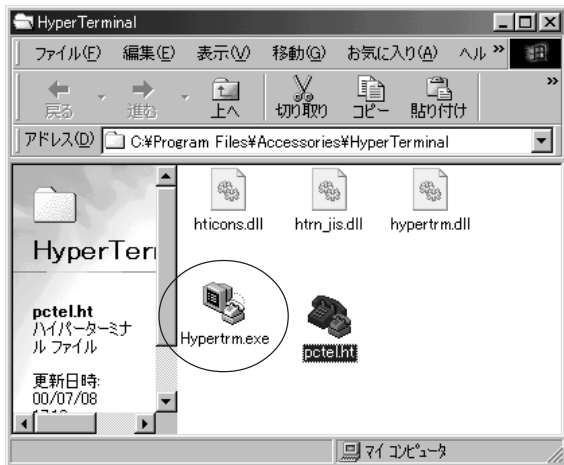
内容を確認して「OK」をクリックしてください。



外線発信に 0 や 9 が
必要な場合は、必ず外線
発信番号に数字と "," を
入れてください。
例: 0,

8. モジュージャックにモデムケーブルを接続してください。

9. 「スタート」 「プログラム」 「アクセサリ」 「通信」 「ハイパーターミナル」で以下の画面を出し「Hypertrm」をダブルクリックします。「ハイパーターミナル」の表示がない場合は、P.70「ハイパーターミナルの追加」を参照してください。



10. 名前を入れて「OK」をクリックしてください。



11. 電話番号を入れ、接続方法に「PCI SoftV92 Data Fax Modem」を選択し、「OK」をクリックしてください。



上の電話番号はNiftyのアクセスポイントです。(一例)

12. 「ダイヤル」をクリックするとダイヤルを開始します。



13. 以下の画面で接続成功です。



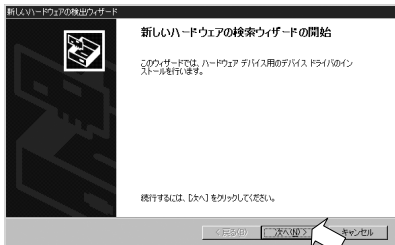
上記はNiftyへの接続例です。

以上で、パソコンとモデム間の通信は成功しましたので、お客様の接続環境に応じて、設定を行ってください。

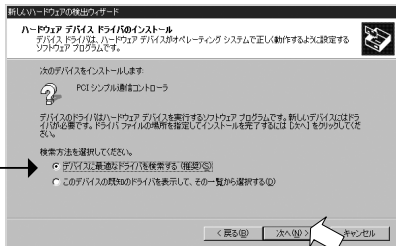
6.Windows 2000でのインストール

6 - 1 . ドライバのインストール

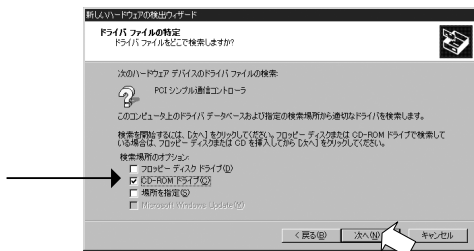
1. パソコンを立ち上げると「新しいハードウェアの検索ウィザード」の画面が表示されます。「次へ」をクリックして進めてください。



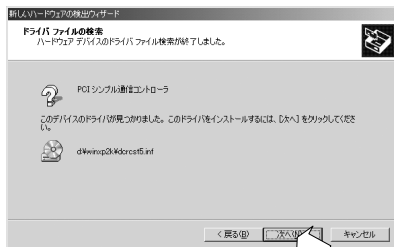
2. 以下の画面が表示されますので「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し「次へ」をクリックしてください。



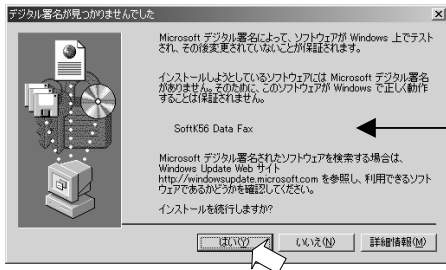
3. 製品添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れ「CD-ROM ドライブ」のみにチェックを入れます。「次へ」をクリックしてください。



4. 「次へ」をクリックしてください。



5. 「SoftK56 Data Fax」と表示されるのを確認して「はい」をクリックしてください。

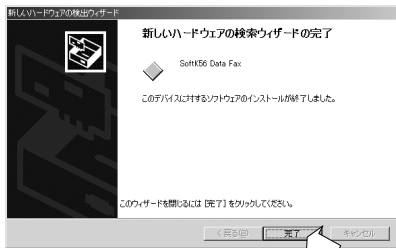


ドライバがコピーされます。

6. 最後に次の画面が表示されます。

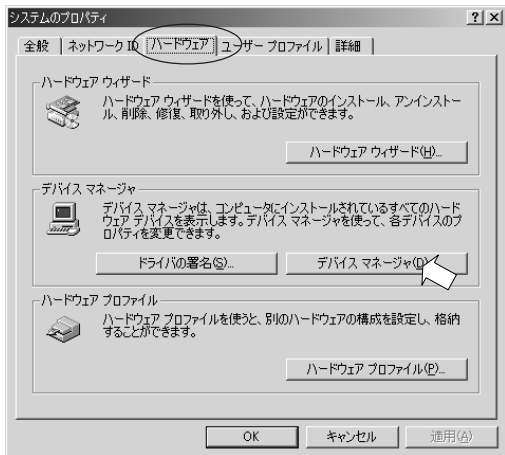
以上でドライバのインストールは完了です。

「完了」をクリックしてください。

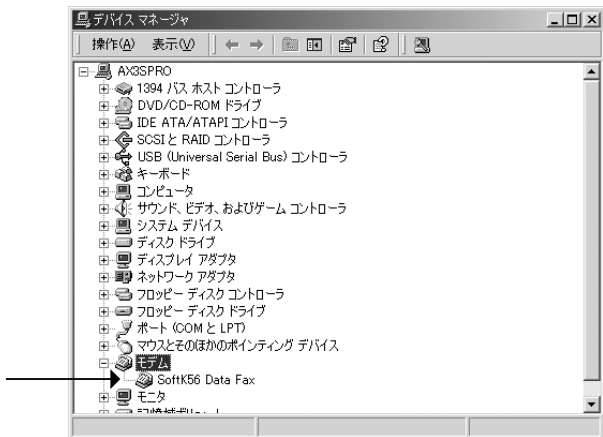


6 - 2 . インストールの確認とモデムとの通信

1. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
「ハードウェア」のタブを選び、「デバイスマネージャ」をクリックします。



2. 「モデム」の「+」をクリックして「SoftK56 Data Fax」が登録されていることを確認し、「SoftK56 Data Fax」をダブルクリックして次頁の画面を表示します。



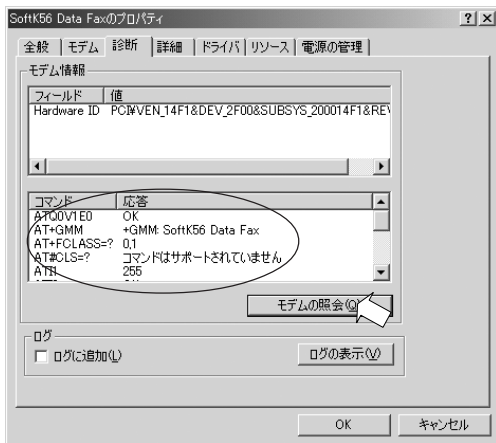
3. 「SoftK56 Data Faxのプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています」と表示されているのを確認します。次に「モデム」タブをクリックしてください。



4. 外線発信を行う場合や、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックを外します。次に「診断」タブをクリックしてください。



5. 「モデムの照会」を選び以下の画面に変わるのを確認してください。表示後、「OK」をクリックします。



これでモデムとの通信テストは完了です。

6. 「マイ コンピュータ」をダブルクリックして、「コントロールパネル」を開きます。「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。P. 18 のような画面が起動した場合は、「市外局番 / エリアコード」を入力し、「OK」をクリックします。すると次の画面が表示されますので、「編集」をクリックします。



7. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

ダイヤル方法 ト - ン = プッシュホン回線

パルス = ダイヤル回線 　　です。

内容を確認して「OK」をクリックしてください。

所在地の編集

全般 | 市外局番の規則 | 通話カード

所在地(L): 所在地を選ぶ

ダイヤル元の所在地を指定します。

国/地域(R): 日本 市外局番(O): 06

ダイヤル情報

この所在地からダイヤルするときに通ずる規則

市内通話の場合の外線発信番号(L):

市外通話の場合の外線発信番号(O):

キヤッチホン機能を解除するための番号(L):

ダイヤル方法: トーン(D) パルス(P)

OK キャンセル 適用(A)

外線発信に 0 や 9 が
必要な場合は、必ず外線
発信番号に数字と ", " を
入れてください。
例: 0,

8. モジュージャックにモデムケーブルを接続してください。

9. 「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「通信」「ハイパーターミナル」を起動します。名前を入れて「OK」をクリックしてください。「ハイパーターミナル」の表示がない場合は、P.69「ハイパーターミナルの追加」を参照してください。

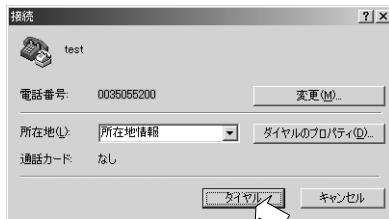


10. 電話番号を入れ、接続方法に「SoftK56 Data Fax」を選択し、「OK」をクリックしてください。



上の電話番号はNiftyのアクセスポイントです。(一例)

11. 「ダイヤル」をクリックするとダイヤルを開始します。



12. 以下の画面で接続成功です。



上記はNifty への接続例です。

以上で、パソコンとモデム間の通信は成功しましたので、お客様の接続環境に応じて、設定を行ってください。

7. トラブルシューティング

7 - 1. 一般的トラブル

1. 通信速度

モデムに通信機器(電話機、F a x)をつけていた場合や、電話線を分岐器で分配した場合は通信速度が遅くなる場合があります。これらはずして、接続してください。

2. I S D Nのアナログポート接続

ターミナルアダプタには、一つのアナログポートに1台のアナログ機器しか接続できないものがあります。ターミナルアダプタの説明書をご確認ください。

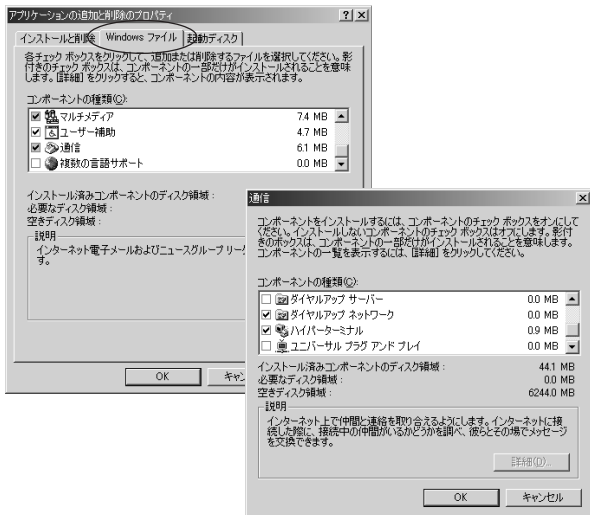
3. AT コマンドの追加

AT コマンドが必要な場合は、AT コマンド・S レジスタ・リザルトコード一覧表を、CD-ROM 内の ATCOMMAND.TXT ファイルにて用意しています。ご参照ください。

7 - 2 . ハイパーターミナルの追加

WindowsMe/Windows2000 の場合

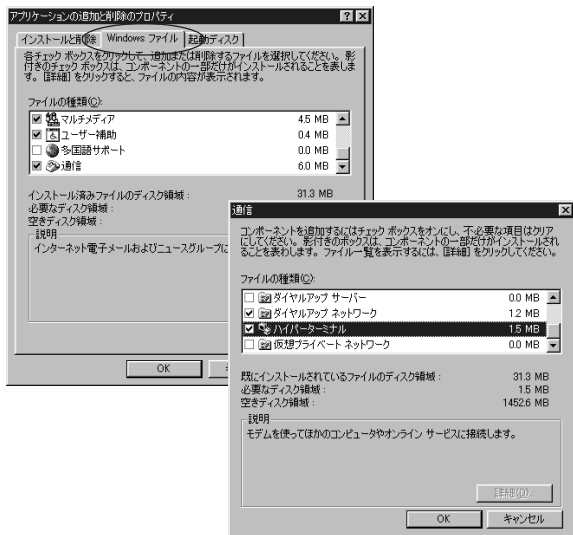
コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。「通信」をダブルクリックします。



「ハイパーターミナル」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

Windows98SE の場合

コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックし、「Windows ファイル」タグをクリックします。
「通信」をダブルクリックします。



「ハイパーターミナル」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

7 - 3 . 「ポートが開かれていません」と表示される

通信テストを行ったとき、正常に AT コマンドが返答されない場合、以下の設定を行っても同様にご確認ください。

- ・他にソフトウェアが起動している（特にモデム（COM ポート）を使用する）場合、そのソフトウェアを終了します。
- ・コントロールパネルの「モデム」のプロパティにて本製品以外のモデムが登録されている場合、その他のモデムを削除します。（あるいはすべてのデバイスを削除し、パソコンを再起動して、本製品のみを登録します）
- ・P. 87「モデムの削除」を参照にドライバを削除し、再インストールを行ってください。そのとき、可能であれば PCI スロットを変更してください。
- ・パソコン本体のシリアルポートを使用不可（Disable）に設定してください。（可能な場合。設定方法はパソコンのマニュアルを参照してください。）

7 - 4 . 例外エラーが発生し、インストールできない

インストール時、CD-ROM を選択せずにインストールが開始され、

「例外 OE が VXD VCOMM(07)+... で発生しました ...」

と表示される場合

上記エラーはモデムボードを交換した場合に発生します。

以前使用されていたモデムが、REX-PCI56C と同社のチップ (Conexant 社) の場合、以前のモデムのドライバが組み込まれます。しかし、製品自体は異なるためエラーが発生します。

以前使用されていたモデムを完全に削除の上、「REX-PCI56C」を組み込んでください。

なお削除の方法は、以前のモデムのマニュアル (組み込みパソコンの場合はそのパソコンのマニュアル) を参照してください。

7 - 5 . 発信すると、パソコンがリセットやフリーズする

7 - 6 . 「Windows 保護エラー」が発生し起動しない

「ハイパーターミナル」や「ダイヤルアップネットワーク」で発信すると、パソコンがリセット・フリーズする場合や、「Windows 保護エラー」が発生する場合、次の点をご確認ください。

1) 他のデバイス（サウンドボードなど）と同じ割り込み（IRQ）を使用している可能性があります。

- ・パソコン側のBIOSで各PCIスロットのリソースを設定する
- ・PCIスロットを変更してする

などして「REX-PCI56C」を他のデバイスと異なるIRQに割り振っても同様か確認ください。

2) 他社製のモデムを以前使用していた場合は、そのモデムを削除してください。削除方法は、そのモデムのマニュアルを参照ください。

7 - 7 . パルスで発信できない (Windows2000/XP)

設定にて「パルス」を選択しているにも関わらず、トーン音がして接続できない場合

[スタート]メニューから [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [インターネットオプション] を選択します。

「インターネットのプロパティ」画面の「接続」タブをクリックします。「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」から設定する名称を選択し、[設定] をクリックします。

「xxx の設定 (xxx は選択した名称)」画面が表示されます。[プロパティ] をクリックします。

「xxx プロパティ (xxx は選択した名称)」画面が表示されます。

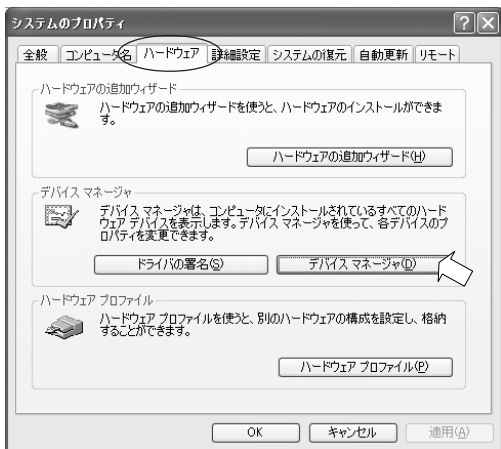
「電話番号」の「ダイヤル情報を使う」にチェックを入れ、市外局番を入力してください。

各画面にて [OK] ボタンをクリックし、終了します。接続可能かご確認ください。

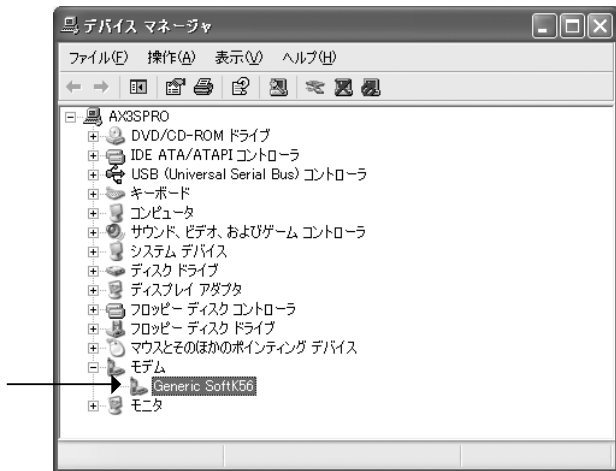
7 - 8 .Windows XP で正常に動作しない場合

Windows XP で正常に動作しない場合は、次の方法で、ドライバの更新作業を行ってください。

1. 「スタート」 「コントロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」 「システム」をクリックします。「ハードウェア」タブを選び、「デバイスマネージャ」をクリックします。



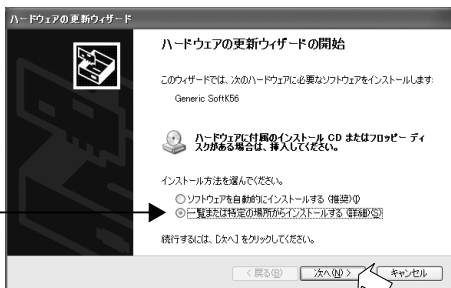
2. 「モデム」の「+」をクリックして「Generic SoftK56」が登録されていることを確認し、「Generic SoftK56」をダブルクリックすると次頁の画面を表示します。



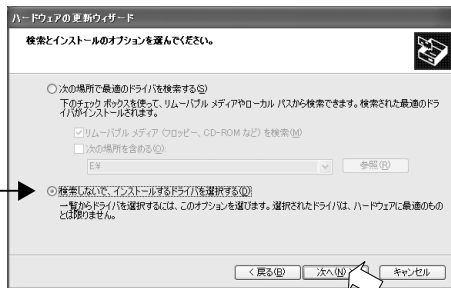
3. 「Generic SoftK56のプロパティ」画面の「ドライバ」タブにて「ドライバの更新」をクリックしてください。



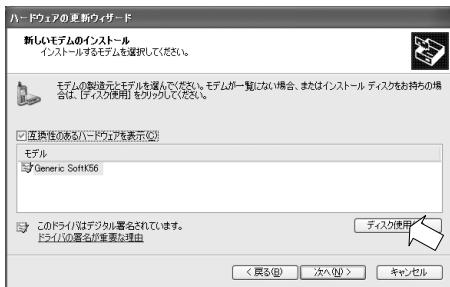
4. 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



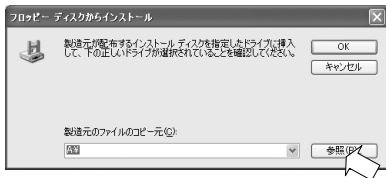
5. 「検索しないで、インストールするドライブを選択する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



6. 添付のCD-ROM を挿入し、「ディスク使用」をクリックしてください。



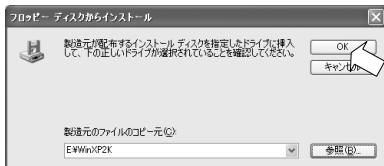
7. 次の画面が表示されますので、「参照」をクリックしてください。



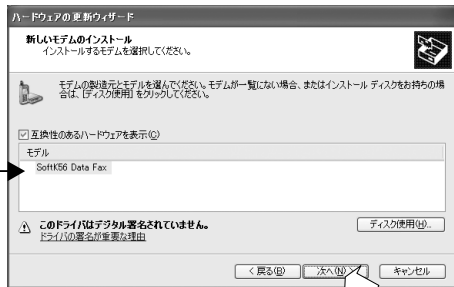
8. CD-ROM 内の「WinXP2K」をダブルクリックしてください。
「DCRCST5」ファイルが選択されていることを確認し、「開く」をクリックしてください。



9. 「WinXP2K」フォルダが選択されていることを確認し、「OK」をクリックしてください。



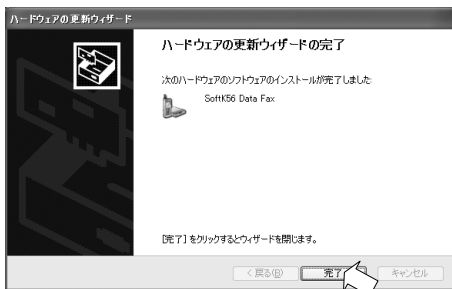
10. 「SoftK56 Data Fax」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。



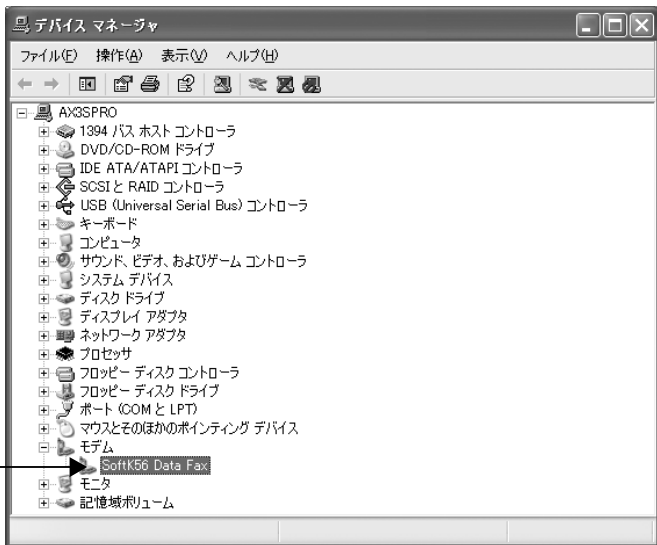
11. 「続行」をクリックしてください。



12. 「完了」をクリックしてください。



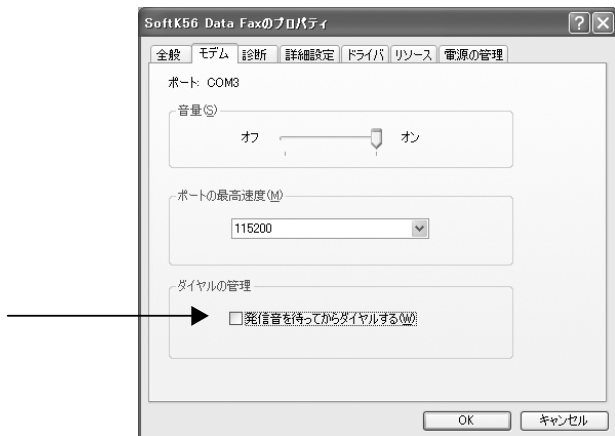
13. 「モデム」の「+」をクリックして「SoftK56 Data Fax」が登録されていることを確認し、「SoftK56 Data Fax」をダブルクリックします。



14. 「SoftK56 Data Faxのプロパティ」画面にて「このデバイスは正常に動作しています」と表示されているのを確認します。次に「モデム」タブをクリックしてください。



15. 外線発信を行う場合や、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックを外します。
次に「診断」タブをクリックしてください。



16. 「モデムの照会」を選び以下の画面に変わるので確認してください。表示後、「OK」をクリックします。



これでモデムとの通信テストは終了です。
正常に動作するか、試してみてください。

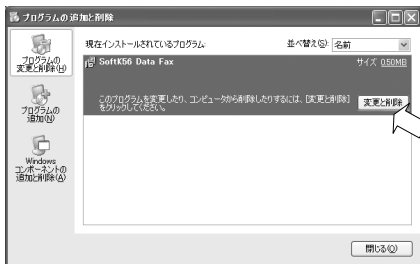
8 . モデムの削除

誤って他のデバイスを削除した場合は、他の機器や Windows 自身が誤動作する可能性があります。十分に注意してください。

また、正しくインストールされなかった場合は削除すべきものが表示されない場合がありますので、無視して次に進んでください。

8 - 1 .Windows XP での削除方法

1. 「マイ コンピュータ」をダブルクリックして、「コントロールパネル」を開きます。「プログラムの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。「プログラムの変更と削除」をクリックして、「SoftK56 Data Fax」を選択し、「変更と削除」をクリックして、削除してください(ドライバを更新した場合のみ、ここに表示されますので、存在しない場合は、このステップは無視してください)。



2. コントロールパネルの「プリンタとその他のハードウェア」
「電話とモデムのオプション」のアイコンをダブルクリックし、「モデム」タブをクリック、削除するモデム(「Generic SoftK56」または、「SoftK56 Data Fax」)を選択した後「削除」をクリックします。存在しない場合は、このステップは無視してください。



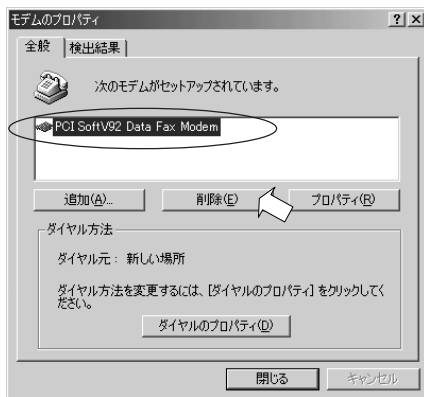
削除後、パソコンを再起動してください。

8 - 2 .Windows Me での削除方法

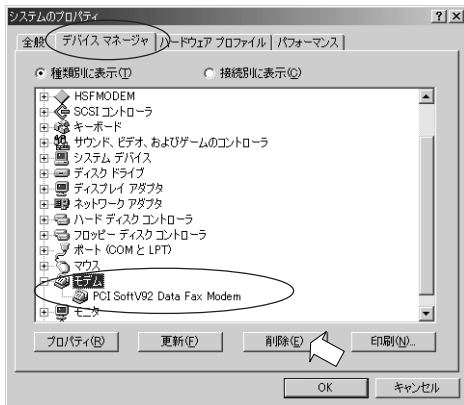
1. 「マイ コンピュータ」をダブルクリックして、「コントロールパネル」を開きます。「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。「SoftV92 Data Fax Modem」を選択し、「追加と削除」をクリックして、削除してください。



2. コントロールパネルの「モデム」のアイコンをダブルクリック、削除するモデムを選択した後「削除」をクリックします。
存在しない場合は、このステップは無視してください。



3. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
デバイスマネージャを開き「モデム」の「+」をクリックして「PCI
SoftV92 Data Fax Modem」を選択し、「削除」をクリックします。
存在しない場合は、このステップは無視してください。



削除の確認画面が表示されますので「OK」をクリックします。

8 - 3 .Windows 98SE での削除方法

1. 「マイ コンピュータ」をダブルクリックして、「コントロールパネル」を開きます。「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。「SoftV92 Data Fax Modem」を選択し、「追加と削除」をクリックして、削除してください。



2. コントロールパネルの「モデム」のアイコンをダブルクリック、削除するモデムを選択した後「削除」をクリックします。
存在しない場合は、このステップは無視してください。



3. マイコンピュータを右クリックし、プロパティを開きます。
デバイスマネージャを開き「HSFMODEM」の「+」をクリックして
「PCI Modem Enumerator」を選択し、「削除」をクリックします。存
在しない場合は、このステップは無視してください。



削除の確認画面が表示されますので「OK」をクリックします。

8 - 4 .Windows 2000 での削除方法

1. 「マイ コンピュータ」をダブルクリックして、「コントロールパネル」を開きます。「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。「プログラムの変更と削除」をクリックして、「SoftK56 Data Fax」を選択し、「変更 / 削除」をクリックして、削除してください。



2. コントロールパネルの「電話とモデムのオプション」のアイコンをダブルクリックし、「モデム」タブをクリック、削除するモデムを選択した後「削除」をクリックします。
存在しない場合は、このステップは無視してください。



削除後、パソコンを再起動してください。

9 .Linux での使用

インストール方法については、CD-ROM 内の Linux フォルダを参照してください。

注意事項

1. 本情報はあくまで参考情報です。Linux 環境において弊社製品の動作を保証するものではありません。
2. 本情報は限られた動作環境における動作結果であり、すべてのお客様のご利用環境にて動作を保証するものではありません。
3. Linux システムの導入や運用については、あくまでもお客様の自己責任のもとでお願いいたします。
4. 本情報の公開内容に基づきお客様または第三者に生じたいかなる損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
5. 本情報に記載される内容は、予告なしに変更される場合があります。
6. Linux 環境での弊社製品のご使用につきまして、弊社では **E-mail** のみにてインストールサポートのみおこないます。

インストールサポートとは、Linux が正常に動作している環境で、弊社製品を使用できるようにドライバをインストールする作業を支援するサポートサービスです。なお、インストールサポートはお客様の環境での動作を保証するものではありません。以上の点をあらかじめご了承ください。

当社 HomePage 製品紹介 OS 対応一覧 Linux 確認を参照ください。

10. 修理に関して

故障と思われる症状が発生したときには、まずマニュアルやReadmeを参照し設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の要領で弊社修理センター宛に製品をお送りください。

< 製品送付先 >

〒 556-0012

大阪府大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル
ラトックシステム株式会社 修理センター宛

< 送付していただくもの >

- ・ 本製品の保証書の原本
- ・ 障害の起きる製品
- ・ 質問用紙に明記した資料

状況・症状等、詳細な記載されていない場合、確認時間がかかる場合があります。出来るだけ詳しくご記入ください。

< 送付方法 >

宅急便等、送付された控えが残る方法でお送りください。

- ・ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。

輸送中の事故につきましては弊社で責任を負いかねますので、ご了承ください。

< 修理費用 >

保証書に記載の保証期間中であれば無償修理となります。詳細は保証書をご覧ください。

- ・ 保証書の原本が添付されていない場合は、有償になる場合があります。**必ず添付してください。**

REX - PCI 56C 質問用紙

お手数ですが拡大コピーの上ご記入ください。

| | | |
|----------------------------------|----------------------------|-----|
| 連絡先 | 〒 | |
| | ----- ----- | |
| | 電話 | Fax |
| お名前 | E-Mail | |
| 購入店 | | 購入日 |
| パソコン機種名 | メーカー | 型番 |
| 使用OS | Windows() | |
| ご質問内容 | | |
| ----- ----- ----- ----- | | |
| 添付資料 | デバイスマネージャのシステム概要 その他() | |

デバイスマネージャのシステム概要の印刷方法

- (1). 「コントロールパネル」から「システム」をダブルクリックします。
- (2). 「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」から「印刷」をクリックします。
- (3). レポートの種類で「システムの概要」を選択し「OK」をクリックします。

注意！

本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

添付の CD-ROM には、Windows・Linux のドライバが収録されています。誤って他の OS のドライバを使用すると、Windows の再インストールが必要になる場合があります。必ずこのマニュアルに指示されたドライバをインストールしてください。